

むつ社協だより No.92

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。



ご自宅から
保育園まで
送迎!

- P 2 ~ **特集** ひきこもり者支援のある地域づくり
- P 4 近川保育園新入園児募集
- P 4 ~ 事業実施報告
- P 7 事業の利用案内／新年の挨拶
- P 8 むつ市社会福祉協議会の会員ご加入にご協力をお願いいたします。
福祉への心温かい、ご寄付ありがとうございました。

特集

ひきこもり者支援のある地域づくり

そもそも



「ひきこもり」って？

さまざまな要因の結果として、原則的に6か月以上にわたって社会参加を避けて家庭にとどまり続けている状態をいいます。

内閣府が令和5年3月末に公表した調査によると、15歳から64歳のうち、ひきこもり状態にある人は146万人と推計されています。この年代の約50人に一人がひきこもり状態にあることになります。

また、ひきこもりの長期化、高齢化による8050問題も深刻になっています。

ひきこもりは、何か一つの原因で生じているわけではなく、さまざまな要因や

背景が絡み合っていることも多く、また明確な原因が見当たらないこともあります。そのため、それぞれの状態に応じた対応を考えながら支援について話し合い、関係機関と連携を図ることが必要です。

むつ市社会福祉協議会では、「ひきこもり」について学び、自分にできる支援について考えていただくための講座をはじめ、本人や家族に寄り添う「伴走型」の支援として、本人や家族の思いを聴く窓口を開設して相談しやすい環境を整えるなど、さまざまな支援を行っています。家族だけで抱え込まずに、むつ市社会福祉協議会に相談してみませんか？

事業内容

むつ市ひきこもり相談窓口

ひきこもりに悩んでいるご本人やご家族の相談に応じるため「ひきこもり相談窓口」を開設

ひきこもり当事者の集い「ふらっとほーむ」

家庭以外の居場所や同世代を中心とした対人関係を経験する場を提供し、社会参加を促進する

ひきこもり家族の集い「ほっとすぺーす」

同じ境遇にある家族同士が集い話し合うことによって孤立感を緩和すると共に、それぞれが抱えるひきこもり当事者との関係構築に向けてのヒントを得る

関係機関連絡会議(地域支援ケース会議)

相談者の抱える背景や事情に応じて、多様な支援につなげられるよう、地域の多様な関係機関で構成される連絡会議

ひきこもりサポーター養成講座

ひきこもりの状態にある方やご家族等へのボランティア支援に関心のある方を対象に、ひきこもりに関する基本的な知識について学び、自分にできる支援について考えていただくことを目的に開催

ひきこもりサポーター継続研修

過年度に実施した「ひきこもりサポーター養成講座」を修了された方を対象に、基本的な知識の再確認及びスキルアップを目的として開催

【各種研修会の様子】

7月18日(木)、金谷みちのく荘においてみちのくケアプランセンター、みちのく金谷ケアプランセンター及びむつ市ホームヘルパーステーションの3居宅介護支援事業所により、本会職員を講師としてひきこもり支援について考える「ケアマネ合同研修会」が開催されました。

また、11月25日(月)には、プラザホテルむつにおいてむつ下北地域社会福祉協議会により、広くむつ下北地域の方々にひきこもりの知識を深めていただくことを目的に「ひきこもり支援について学ぶ研修会」が本会職員を講師として開催され、本会が実施している「ひきこもり支援ステーション事業」について紹介しました。



【研修会を終えての感想等】

- ・ひきこもりが他人事ではないことを常日頃から感じています。社会や家庭との隔たりがなくなることは、一人ひとりが知ることだと思いました。
- ・大変難しい、デリケートな問題です。それを根気よく続けていることに感心しました。
- ・ひきこもりのメカニズムについて、わかりやすく説明してくれてよかったです。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。今後の生活に生かせたらいいと思った。気の長い話だと思うので、そこは長い気持ちで!!

むつ市社会福祉協議会では、平成30年度の「ひきこもりサポーター養成事業」をはじめとして、これまでさまざまなひきこもり支援に関する事業を行ってきました。今回は、ひきこもり支援に関する本会の取り組みについてご紹介します。

むつ市ひきこもり相談窓口

ひきこもりに悩んでいるご本人やご家族のご相談に応じるため「ひきこもり相談窓口」を開設しています。ひきこもりの状態が続くと、ご本人だけでなくご家族も心配や不安が募ります。

ひきこもりは、その要因として様々な背景が絡み合っていることがあり、それぞれの状態に応じた対応を考え、工夫していく必要があります。

「もう遅い」などとあきらめたり、ご家族だけで抱え込まず、まずはご相談ください。

●相談日時

月曜日～金曜日
(祝日を除く)
午前9時～
午後5時まで。



ひきこもり当事者の集い 「ふらっとほーむ」

青年期の「社会的ひきこもり」の状態にあり、社会参加が困難な方の集いの場です。家庭以外の居場所や同世代を中心とした対人関係を経験する場ですので、一歩踏み出したい方のご参加をお待ちしています。はじめてのご参加となる方は、まずは下記問合せ先にお気軽にご連絡ください。

- 対象者 ひきこもり相談窓口にご相談にこられ「ふらっとほーむ」への参加を希望する方。
- 場所 むつ市海老川コミュニティセンター
- 参加費 無料
- 活動内容 スポーツ・レクリエーション・話し合い等

「ふらっとほーむ」日程 (13:30～15:30)

2月14日(金)・2月28日(金)
3月14日(金)・3月28日(金)
4月～ 第2・4金曜日の予定

社協が取り組む「ひきこもり支援ステーション事業」とは…

ひきこもりに関する相談支援、ひきこもりの状態にある当事者及びそのご家族の居場所づくり、ひきこもりサポーターの養成・派遣など、さまざまな面からひきこもりを支援する基盤を構築する事業で、令和4年度から始まったものです。むつ市社会福祉協議会では、むつ市の委託事業として実施しています。

お問合せ・ご相談は ひきこもり相談窓口 ☎33-3023 へご連絡ください。

ひきこもり家族の集い 「ほっとすぺーす」

ひきこもりの状態にあり、なかなか社会とつながらずにいるご本人への理解を深めるための家族会です。ご本人の年齢、家にいる期間、病気や障がいの有無など、本当に様々ですが、「なんて声をかけたらいいか」「どう関わったらいいか」といった悩みはみなさん共通するものがあります。ご家族の心が少しでも軽くなるように、私たちが共に考えてまいります。

●場所 むつ市社会福祉協議会
「心配ごと相談室」

●参加費 無料

●活動内容 精神保健福祉士・保健師等による講話や座談会、参加者同士の体験を語る話し合い、ひきこもりに関する基本的な理解及び対応を検討するための研修等。

「ほっとすぺーす」日程 (14:00～15:30)

2月27日(木)・3月27日(木)
4月～ 第4木曜日の予定

ひきこもりサポーター 養成講座(前期プログラム)

10月26日(土)、プラザホテルむつにおいて「令和6年度ひきこもりサポーター養成講座(前期プログラム)」を開催しました。この講座は、ひきこもり状態にある方やそのご家族等へのボランティア支援に関心のある方を対象として、ひきこもりに関する基本的な知識やサポーターとしてできることについて学んでいただくものです。

今回は、精神保健福祉士、青森県公認心理師・臨床心理士の2名を講師に迎え講義を行い、両カリキュラムを終えた18名に前期プログラムの修了証を交付しました。



近川保育園新入園児募集

子育て世代の就労支援等を目的に経営している近川保育園では、令和7年度の新入園児を募集しています。当園では、和太鼓を通じ「集中力」、「持続力」、「協調性」を身につけるとともに、季節に応じた諸行事及び延長保育を実施しています。

また、送迎バスを完備し、ご希望により園児の送迎を行っていますのでご家庭の実情に合わせてご利用ください。

◎入園のご案内

●入園要件

- ・お父さん、お母さんが仕事をしている場合
- ・疾病、心身に障がいのある場合
- ・出産、求職活動中の場合（ご相談ください）

●受入年齢 生後4か月～小学校就学未満

●入園定員 40名

●開園時間 午前7時～午後6時30分 (延長保育含む)

●入園時期 4月1日～ (年度の途中でも入園できます)

◎主な保育サービス

●延長保育 午後6時～6時30分

●乳児保育 生後4か月～

●障害児保育 集団生活が可能な園児

●食物アレルギー給食

食物アレルギーをお持ちのお子さんには、安心して美味しい給食を提供するため、医師の診断書をご提供いただき、アレルギー食品を完全除去し、代替え食品にて対応いたします。

- バス送迎 ご希望により生後6か月以上の園児を対象に、ご自宅から保育園までの送迎を実施しています。

◎保育園の特色

- 保育理念 自然豊かな環境の中で、子ども一人ひとりを大切に、家族、地域に信頼され愛される保育園を目指しています。
- 保育方針 健康で明るい子
きまりを守る子
思いやりのある子
ものを大切にする子
- 和太鼓 日本総合音楽研究の講師による指導を行っています。和太鼓を通じ、集中力、持続力、協調性を身につけていきます。
- 施設見学お問合せ 近川保育園 ☎26-2117



事業実施報告

◎ふれあいバスの旅



7月9日(火)、12日(金)に「ふれあいバスの旅」を実施しました。65歳以上の方を対象に両日合わせて135名のご参加をいただきました。

今年度は田舎館村の田んぼアート、津軽藩ねぶた村を見どころに、津軽方面へ出向きました。

田んぼアートでは、田舎館村文化会館(第1田んぼアート)の展望台にて、「神奈川沖浪裏(葛飾北斎:富嶽三十六景)と北里柴三郎(新千円札肖像)」題材の田んぼアートを見学、津軽藩ねぶた村では、かまどで炊いたご飯を使用した「郷土料理けの汁定食」をいただき、みなさま完食されていました。

また、ねぶたの館では実物大の大型ねぶたとお囃子の実演に大きな拍手が送られていました。

◎ものづくり交流会



7月19日(金)、むつ市陶芸センターにおいて「ものづくり交流会」を開催しました。

川内地区にお住まいの65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に3名のご参加をいただきました。

初めての陶芸教室開催でしたが、講師の先生に教えていただきながらみなさん思い思いの作品作りに取り組んでいました。

後日焼きあがった作品をお届けしました。

◎ほほえみのつどい



9月29日(日)、むつ市下北自然の家において「第42回ほほえみのつどい」を開催しました。

当日は、ご来賓・ボランティア・参加者・役職員を合わせて65名のご参加をいただき、プレーホールでのニュースポーツ(モルック・フライングディスク)を通じて、相互の交流を深めました。

また、青森ヤクルト販売株式会社むつ営業所様から参加者へ「ヤクルト」の差し入れをいただきました。

参加者からは、「継続して開催して欲しい」などの声が聞かれました。

◎ふれあい広場



11月28日(木)、むつ市大畑体育館において「ふれあい広場～大畑地区福祉団体交流会～」を開催しました。大畑地区の福祉団体(老人クラブ・手をつなぐ親の会・民生委員児童委員協議会など)74名が集い、レクリエーションを通じて交流を図りました。最初は、足、膝、腰が…などと言ってもゲームが始まると、みんな少し若返ったように元気はつらつと楽しまれていました。

◎ふれあい福祉展



10月19日(土)、プラザホテルむつにおいて「ふれあい福祉展」を開催しました。

この福祉展は、福祉施設等が行う活動の紹介や、入所者の作品を展示・販売することにより、広く市民のみなさまに施設等への理解を深めていただくことを目的としています。

今年度は26団体のご参加をいただき、約460名の来場者があり、賑わいを見せていました。来場された方々には、昨年同様、無料でおそばをお召し上がりいただき、大変喜ばれました。

◎ふれあいクリスマス会



12月15日(日)、プラザホテルむつにおいて「ふれあいクリスマス会」を開催しました。このイベントは、在宅で暮らす障がい者とボランティアが共にクリスマスを楽しむ機会を設けることで、ボランティアの育成を図ることを目的とし、NHK歳末たすけあい義援金を活用して例年実施しています。

今年度は134名のご参加をいただき、むつ・下北地区レクリエーション協会の方々による趣向を凝らした各種レクリエーション、ホテル自慢のクリスマスランチ、食後には参加者のみなさまからのカラオケなどで大いに盛り上がり、楽しいクリスマス会となりました。

◎川内地区高齢者ふれあい昼食会



10月29日(火)、川内公民館において「高齢者ふれあい昼食会」を開催しました。

川内地区にお住まいの65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に36名のご参加をいただきました。

本会職員による「高齢者の権利擁護」の説明の後、綾小路きみまろのDVD鑑賞や食事を交えて参加者同士の交流を楽しんでいました。

◎年越しそばを楽しむ会



12月20日(金)、川内公民館において「年越しそばを楽しむ会」を開催しました。

川内地区にお住まいの65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に31名のご参加をいただきました。

お笑いプロデューサー笹沼正悦氏を迎え、「笑いは心のくすり」と題してお笑いを交えた講話をしていただきました。

その後、毎年お楽しみみの十割手打ちそばで一足早い「年越しそば」を堪能していただきました。

◎社会福祉大会

ご支援・ご協力いただきましたみなさまに感謝申し上げます。

11月13日(水)、プラザホテルむつにおいて「第64回むつ市社会福祉大会」を開催しました。

当日は、福祉関係者など約250名の方々にご参加をいただき、青森県文化財保護協会会長 滝尻善英氏を講師にお招きし、「斗南藩の人々から学ぶ「折れない心」と「生きる力」と題して講話をしていただきました。

また、大会式典では永年にわたり、地域福祉向上にご尽力された方々への表彰及び感謝状の贈呈を行いました。表彰及び感謝状を受けられた方々は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

●表彰の部

障がい者福祉団体役員として、永年にわたり地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与されました。

越前陽悦

民生委員児童委員として、永年にわたり地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与されました。

川口ゆり子 若佐直子
岩崎金蔵 宮本由美子

民間社会福祉施設、社会福祉協議会及び社会福祉団体等の役員として、永年にわたり地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与されました。

小林節子

個人又は団体等で、社会福祉事業協助者として、永年にわたり地域福祉活動に尽力され、社会福祉の増進に寄与されました。

菊池禮子 中村つや子
櫻井のり子 善甫久代

社会福祉の重要性を深く認識され、永年にわたり経済的援助をされました。

株式会社トーリン

●感謝の部

社会福祉の重要性を深く認識され、令和5年度において社会福祉事業に積極的に協力援助をされました。

むつライオンズクラブ 花一輪会
むつフレンドリークラブ 龍本寺
有限会社ユーシーネット 菊池新聞店
けんしんよう友の会 初盛淳一
一般社団法人公済会 有限会社関商店
株式会社ユアテック 馬場重利
株式会社ダイナムむつ店

◎福祉作文・ポスターコンクール

「子どもの頃から福祉にふれられる環境づくり」への取り組みの一環として、小・中学生を対象に、日々の生活での福祉体験や、ボランティア活動等とおして得た思いなどを作文やポスターで表現することを通じ、次代を担う子ども達の「福祉の心」を育むことを目的に実施しました。

最優秀賞を受賞された児童生徒は、11月13日(水)開催の「第64回むつ市社会福祉大会」式典で表彰され、同大会で作文の朗読をされました。小・中学生の素直な気持ちの伝わる福祉作文に、会場からは大きな拍手が送られました。(敬称略)

【作文の部】

- 最優秀賞 「ユニバーサルデザインフードについて」
第二田名部小学校
6年 八重樫 一心
- 「ボランティア活動」
大湊中学校
3年 湯沢 惺太
- 優秀賞 「自分にできること」
近川中学校
2年 南 壮依
- 佳作 「私の大好きなおばちゃん」
田名部中学校
1年 三浦 陽咲
- 「高齢者福祉の大切さ」
大湊中学校
3年 武市 菜桜

【ポスターの部】

- 優秀賞 大平小学校
5年 美濃部 天希
- 佳作 大平小学校
3年 美濃部 日向



八重樫 一心



湯沢 惺太

事業の利用案内

◎除雪ボランティア

むつ市ボランティア市民活動センターでは、75歳以上の高齢者世帯や身体障がい者世帯で、自らで除雪が困難で経済的理由により他に支援を求めることができない世帯の除雪ボランティアを実施しています。

併せて、活動にご協力いただくボランティアを募集しますので、ご登録をお願いします。

●対象要件

- (1)高齢者世帯
75歳以上の高齢者のみの世帯
- (2)身体障がい者世帯
身体障がい者のみの世帯
- (3)共通事項
 - ①自己所有の一戸建て(借家含)に居住していること
 - ②市内に除雪ができる親族が居住していないこと
 - ③低所得世帯(参考：世帯の収入合計が概ね月に12万円未満)

- 期 間 3月31日まで
月曜日～金曜日(祝日を除く)
- 時 間 午前9時～午後4時まで
- 除雪箇所 出入口、ストーブの排気口確保
※屋根の雪下ろしは行いません。

除雪ボランティアの登録

- 募集範囲 むつ市内在住で除雪活動に協力できる方
- 募集期間 3月31日まで随時受付
- 留意事項 事故・ケガ等に備えボランティア保険に加入していただきます。
(自己負担金はありません。)
- 申込問合せ先
むつ市ボランティア・市民活動センター
(むつ市社協内)
☎33-3023

◎教育支援資金貸付金のお知らせ

低所得世帯を対象として、就学に係る費用を貸付ける「生活福祉資金(教育支援資金)」貸付事業を実施しています。お子さんの就学にあたり、学費及び生活費の捻出にお悩みの際は、下記へご相談ください。

- 貸付対象
低所得世帯(住民税非課税世帯程度)
- 貸付条件
 - (1)金融機関及びその他施策制度から融資を受けられない世帯
 - (2)日本学生支援機構等の奨学金を活用しても就学に要する経費を賅えない場合
- 貸付限度額
 - (1)教育支援費
低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に就学するために必要な経費
高校 月額 3万5千円以内
高専 月額 6万円以内
短大 月額 6万円以内
大学 月額 6万5千円以内
 - (2)就学支援費
低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費
50万円以内
- 貸付利子 無利子
- 申 込 者 子ども等を借入申込者とし、保護者を連帯借入申込者とし、原則、連帯保証人は不要です。
- 貸付審査 青森県社会福祉協議会の審査となります。この結果、貸付を受けられない場合があります。
- 申込問合せ先

本 所	☎33-3023
川内支所	☎42-2002
大畑支所	☎34-3537
脇野沢支所	☎44-3550

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさまには、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、本会の各種事業の推進につきまして、格別なるご理解とご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

新しい年におきましても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、役員一丸となり地域福祉の推進に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民のみなさまのご健勝・ご多幸を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉 法人 青森県社会福祉協議会 会長 遠藤雪夫
外役職員一同

むつ市社会福祉協議会の会員ご加入にご協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域のみなさまに支えられた民間の福祉団体です。社協の事業を進めるための財源は、会員会費、寄付金のほかに、青森県社会福祉協議会、青森県共同募金会及び市からの補助金、助成金及び受託金により賄われています。

社協は、営利を目的としていないため、事業を維持・発展させるための資金を集めることが大きな課題となっています。このうち会員会費と寄付金は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動をご理解いただき、ひとりでも多くのみなさまに会員ご加入のご協力をお願いいたします。

◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年会費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

◇ 入会方法 ◇

会員にご加入いただける場合は、本会へご連絡をいただけますと職員が伺い、入会申込書に必要事項をご記入いただき、会費納入方法等についてご案内させていただきます。

○ 問合せ・連絡先 総務課 ☎33-3023

福祉への心温かい、ご寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。



- 匿名様 10,000円
- 下北地区労働者福祉協議会様 100,000円
- 花 一 輪 会 様 39,420円
- 匿名様 22,361円
- (故)堀 江 和 夫 様 14,550円
- 龍 本 寺 様 3,105円
- 下北から甲子園様 37,000円
- 匿名様 30,000円
- むつ市川内町商工会女性部様 6,000円
- むつ市シルバー人材センター友の会様 5,000円
- 下北地区ロータリーVSライオンズ
チャリティーゴルフコンペ様 20,000円
- 匿名様 1,875円
- むつトマホークス様 9,073円
- 山 本 潤 子 様 10,000円
- むつ商工会議所女性会様 20,000円
- 菊 池 新 聞 店 様 50,000円
- 匿名様 30,000円
- むつライオンズクラブ様 30,000円
- 株式会社トーリン様 50,000円
- 海上自衛隊大湊海曹会様 30,000円

- 龍 本 寺 様 36,000円
- むつ市もうたりクラブ様 30,000円
- むつフレンドリークラブ様 30,000円

主な物品寄付

- 匿名様 食料品
- 東北労働金庫むつ支店様 食料品
- からたちの緑のドラムカン様 車椅子1台
- 匿名様 介護用品
- 匿名様 生活用品
- 尚 文 堂 様 学童用音楽用品
- 匿名様 食料品、生活用品
- 匿名様 生活用品
- 一般社団法人公済会様 図書カード22,000円分
- 匿名様 介護用品
- 高田艶子様、琉児様 生活用品
- 自立支援居場所協会様 生活用品
- 匿名様 介護用品
- 匿名様 介護用品、生活用品

令和6年7月1日から令和6年12月31日まで